

株式会社 堀本工務店 〒920-0005 金沢市高柳町4の1番地2
TEL:076-252-0288 FAX:076-252-0435

<http://horimotokoumuten.com>
mail@horimotokoumuten.com

特集

家族にやさしい

自然素材を取り入れた住宅



ほりもと通信では、暮らしに役立つ話題をご紹介します！
今回は、人にやさしい自然素材を取り入れた家づくりをご紹介します。

柔らかく自然な風合いが魅力の自然素材。家づくりの検討にあたってご興味のある方も多いのではないのでしょうか。今回は素材の種類や特性、自然素材を用いる際のヒントや注意点を紹介します。

●無垢材、漆喰や珪藻土...
五感を豊かにする自然素材

自然素材の代表的な存在としては、スギやヒノキなど自然の木そのものを加工した無垢材が挙げられます。スギは温かい質感と柔らかく加工しやすい材質が特徴で、価格が比較的安価なのも魅力。フローリングに用いれば素足でも心地よい床面になるので、個室やリビングにも向いています。ヒノキは上品な白い質感と堅さが特徴で水まわりにも使用でき、浴室に用いれば木の香りと自然な肌触りの素敵ナラックス空・やをつくることもできます。ただし他の木に比べて比較的割高となるため、家全体のプランニングを踏まえた上でメリハリのある使い方をするのが望ましいでしょう。

内壁では漆喰や珪藻土などが人気の素材です。消石灰を原料とする漆喰はツヤのある白い質感の伝統的な材料。一方の珪藻土は植物性プランクトンを原料としたマットな肌触りで、漆喰に比べ色のバリエーションが選びやすいのも特徴です。漆喰はアルカリ性のためカビにくいことや珪藻土は調湿効果が優れていることも特徴ですが、工法で室内環境の問題を解決した「FPの家」などの高性能住宅では、風合いや好みに合わせて自由に選んでも構いません。

いずれの自然素材も次第に味わいや表情が出る一方で他の素材よりも傷つきやすい傾向があり、素材のデリケートさも個性であることを納得して使うことが必要です。子育て世帯の場合、子どもが小さいうちは壁などの仕上げを控え、ある程度大きくなってから用いるというも選択肢のひとつです。

●年が刻む自然素材の風合いと、長寿命の「FPの家」は相性抜群

かつては日本における住宅の耐用年数は30年程度と言われてきましたが、家の寿命を縮める大きな原因である結露を「FPウレタン断熱パネル」で解決し、末永く暮らせる住宅を実現したのが「FPの家」です。長持ちする家は年を経て風合いを増す自然素材とも相性が抜群。性能を失うことなく世代を超えて受け継がれる資産としての価値に加えて、家族の歴史を刻む愛着のある住まいになっていきます。「FPの家」には様々なアイデアで自然素材を取り入れることでお住まいのお客様に喜ばれている施工実績がありますので、ご興味のある方は担当者までお気軽にご相談ください。

将来のライフプランや家族の暮らしを支えるのは、しっかりと家づくりです。将来、建てて良かったと納得できる住宅をぜひとつくりたいものです。
5/17(土)18(日) FPの家 完成内見会
ぜひ皆様でお越しください。お待ちしております。

我が家のお悩み診断

Dr. 住まいる

今月のご相談

Q. シャワーヘッドのお手入れ

浴室のシャワーの勢いが弱くなりました。お手入れはどうすれば良いの？

A. 目詰まりは水分中に含まれるカルシウムが固まるのが原因。お酢やクエン酸を溶かした水にしばらくつけておくと、酸の作用で固まりが取れてきます。その後はブラシなどでこすり洗いしとすすぎを。しつこい汚れの場合は、針や爪楊枝などでやさしく取り除きましょう。

今月のテーマ

キッチンのレイアウト



キッチンには外見だけでなく、料理や食事の風景を思い浮かべながらライフスタイルに合ったものを選ぶことが大切です。壁から独立したアイランド型は家族や仲間と一緒に料理や食事を楽しむ人におすすめ。一方で乱雑になりやすいキッチンを見せたくない、家事に集中したい人は一部を壁に接し・スペニンシュラ型のほうが使いやすいという場合もあります。

シンクやコンロ・冷蔵庫の並びによってI型・II型・L型・U型などのレイアウトがありますが、これは家全体の面積配分の中で検討するのが賢明です。広いキッチンは快適ですが、その分ダイニングなどが狭くならないようバランスが大切です。

聞いて納得! アイデア

今月のアイデア

アルミ鍋の黒ずみを落とす・防ぐ

アルミ鍋は黒ずみやすいのが悩みの種です。もし内側が黒ずんでしまったら、水と一緒にリンゴをむいた皮やレモンを15分程度煮るとスポンジなどでこすったときに落ちやすくなります。次に使う前には米のとぎ汁を10分程度沸騰させてから、水洗いして一度乾燥を。表面の酸化皮膜で黒ずみにくくなりますよ。



なるほど!

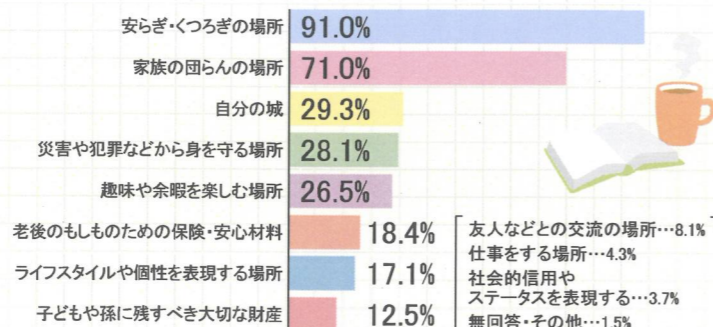
納得ノート

今月のテーマ

家はリラックスできることが肝心

住まいはどのような場所と捉える人が多いのでしょうか。右のデータでは9割以上が「安らぎ・くつろぎの場所」、7割以上が「家族の団らんの場所」と答えていることがわかります。せっかく我が家を建てるなら、家族全員が年を経ても末永くリラックスできる場所にしたいものですね。

自分にとって「住まい」とはどのような場所か



出典:国土交通行政インターネットモニターアンケート調査
「住生活に関する国民アンケート～未来の「住まい」を考える～」 調査期間:平成22年1～2月

完成内見会 ~高層台1丁目~

2014.5.17(土)~18(日)
10:00~17:00

~永く住もう~

FPの家だからできる間取り
高気密・高断熱
子育て期から老後まで
平屋をイメージした空間づくり
そんな工夫がいっぱいです
ぜひご来場ください

アンケートをご記入いただいたお客様に
粗品をプレゼント

H25年度既存住宅の長期優良化リフォーム事業 探択!

- ◆補助限度額: 最大100万/戸 (※工事費用の1/3以下の範囲)
 - ◆平成26年9月末日までに着工
 - ◆平成27年1月末日までに工事完了
増築工事は対象外
- ~必須工事~
- ・住宅の劣化対策
 - ・住宅の耐震性適合 (S56年以降基準)
- 省エネ or 維持管理 など

編集後記

今年のGWは増税後の飛び石連休ということもあって海外旅行もアジア圏など近場志向が強まったようです。皆様は充実したお休みを過ごされましたか。新緑の季節、北陸でも梅雨前まで太陽光発電ががんばってくれる時期ですね。心機一転、新しい習い事や趣味を始めてみたり、お部屋の模様替えなどいかがですか。